

シェムリアップ Moi Moi ライフ

ISSUE
112

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつつつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



小出 陽子 (Yoko KOIDE)

1992年早稲田大学大学院卒。一級建築士。2000年、UNESCO/JSA 遺跡修復オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年シェムリアップにレストラン Cafe Moi Moi をオープンする（一時休業中）。同年JST（NGO：アンコール人材養成支援機構）を設立し、農村地域の支援活動始める。2013年“アンコールの都の西北”に公立のバイヨン中学校を創設。2019年には高校も併設され、現在、全校生徒820人の学校運営を行っている。

● JST ホームページ
<http://www.jst-cambodia.net>

話し出したら止まらない 将来の夢！

新学期早々、バイヨン中学校3年生に将来の夢を尋ねたところ、2人の女子生徒が目を輝かせて、

「私はアニメのキャラクターを描く仕事に就きたい！」

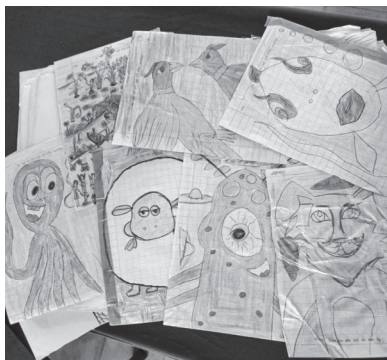
「私は歌と踊りが好きなので、芸能関係の仕事に就きたい！」と答えてくれました。

さらに聞いてみると、アニメーター志望の子の父親は、カンボジアに工房があるフランス人服飾デザイナーの染物師として長年働いていて、その影響が、小さいころから絵を描くことが好きだったそう。頭の中に思い浮かんだイメージを描いているのだそうですが、「次から次へと描きたいキャラクターが浮かんで、もう、止まらないの!!!」と興奮気味に話してくれました。

もう1人は、村のお祭りなどで自分の歌を披露することもあり、「自分でも理由はわからないけれど、自然と身体が動いてしまう。歌も踊りも好きで好きで



次々と頭に浮かぶキャラクター



たまらないわ!!!」とのこと。

…2人のパッションに圧倒されました。この子たちの祖先（前世？）は、アンコール時代の絵師や彫刻師アプサラ（踊り子）だったのでは？ きっとそうに違いない！

カンボジアの学校では音楽や美術の授業がないので、彼女たちの能力を發揮できる場は限られていることですが、最近、巷にあふれているSNSなどをうまく使って、夢に近づく方法はないものでしょうか？ 私にも何かお手伝いできるといいのだけれど…。それぞれの「好きで好きでたまらない！」ことが大人になっても続けられますように。